

## 公益財団法人泉屋博古館 ソーシャル・メディア・ポリシー

公益財団法人泉屋博古館（以下、当館といいます。）は、当館の展覧会や当館にかかわるさまざまな情報を利用者の皆さまにタイムリーに提供することを目的として、ソーシャル・メディアを利用して情報発信を行います。当館は、下記のソーシャル・メディア・ポリシー（以下、本ポリシーといいます。）に従いソーシャル・メディアの利用を行っています。

2018. 3. 10制定

### 1. 本ポリシーの目的

当館は、ソーシャル・メディアの利用を通じて、当館の展覧会や当館にかかわるさまざまな情報を利用者にタイムリーに提供いたします。本ポリシーは、当館がソーシャル・メディアを利用することにあたっての目的、内容、条件などを利用者と共有することを目的として制定、公表するものです。

### 2. 当館のソーシャル・メディア利用に対する考え方

- (1) 当館が利用するにふさわしいソーシャル・メディアのみを利用し、当該ソーシャル・メディアの利用規則を守ります。
- (2) 当館は、第三者の知的財産権、著作権、肖像権、商標権ならびにプライバシーにかかわる権利を尊重いたします。また当館は、名誉毀損にあたる利用・行為はいたしません。
- (3) 当館は、ソーシャル・メディアに発信する情報の正確性とその品質の維持・向上に最大限の注意を払いますが、発信される情報は、当館がその内容を保証するものではなく、その内容を信用したことにより利用者に損害等が生じた場合当館は一切責任を負いません。なお、情報の修正が必要となった場合は、速やかに同一のソーシャル・メディア上で修正を行います。
- (4) 当館は、ソーシャル・メディア上で情報の提供が困難になった場合には、当館の判断により予告なくアカウントを停止、閉鎖ないし削除いたします。

### 3 知的財産権および著作権

- (1) 当館がソーシャル・メディアに記載する全ての情報の知的財産権（著作権法27条及び28条に規定する権利を含む。）は、当館または原作者に帰属します。また、利用者が当館のソーシャル・メディアに掲載した情報についての著作権は全て当館に帰属します。利用者はこれについての著作者人格権を行使しないものとし、当該権利の帰属及び放棄について利用者には対価を請求する権利はありません。
- (2) 当館がソーシャル・メディアに記載する内容については、「私的使用のための複製」や「引用」など著作権上認められた場合を除き、無断で複製・転用することはできません。

### 4. 当館ソーシャル・メディアの利用者における制限事項

利用者が以下の行為等を行った場合には、予告なく投稿の削除やアカウントのブロックを行うことがあります。また、当館は以下の行為を行った利用者による当館ソーシャル・メディアの利用を制限することができ、当該利用者はこれに異議を唱えないものとします。

- (1) 当館の活動を妨害する行為
- (2) 公序良俗に反する、もしくはそのおそれのあるもの
- (3) また、当館が利用するソーシャル・メディアを次の行為に利用すること  
・ 個人的な利用目的を超える行為

- ・ 営利目的の行為
  - ・ 出資、寄附、資金提供、物品・サービスの購入の勧誘等をする行為
  - ・ 選挙の事前運動、選挙運動またはこれらに類似する行為。公職選挙法に違反する行為
  - ・ 宗教団体その他の団体・組織への加入を勧誘する行為
- (4) 知的財産権、著作権、商標権、肖像権、商標権ならびにプライバシーにかかわる権利を侵害するもの
  - (5) 当館、他の利用者、その他の第三者を誹謗中傷する行為、名誉、信用あるいはプライバシーを毀損する行為、および根拠のない情報を掲載する行為
  - (6) 迷惑を与え、または不利益を生じさせもしくはは損害を与えるもの、またはそのおそれがあると当社が判断するもの
  - (7) 違法行為、犯罪的行為に結びつくもの、またはそのおそれのあるもの
  - (8) 明らかないたずらおよび意味のないもの（空書き込み、意味のない文字の羅列、同様の内容の連続投稿など）
  - (9) 有害なプログラム・スクリプト等を含むもの
  - (10) 本ソーシャル・メディアを利用して当社、他の利用者その他の第三者に対し、コンピューターのソフト・ハードの正常な機能を阻害するウィルス等の有害なプログラムまたはファイル等を発信する行為
  - (11) 他者になりすますこと
  - (12) その他、管理運営を妨げる等当館が不適切と判断したもの

## 5. その他

- (1) 当館のソーシャル・メディアの利用者が本ポリシーに違反し、またはソーシャル・メディアの利用者が利用に関連して当館、他の利用者その他の第三者に有形無形の損害を与えた場合、当該利用者はこれを自己の責任と負担において賠償し、その他の解決をはかり、当館に一切の負担を負わせ又は迷惑をかけないものとします。
- (2) 当館はソーシャル・メディアの利用者の同意を得ることなく本ポリシーの内容を変更することができます。この場合、変更後の本ポリシーは当館がウェブサイトへの掲載その他の方法により公表した時点で当然に効力が生じ、以降本ソーシャル・メディアの利用者は変更後の本ポリシーの適用を受けるものとします。
- (3) 本ソーシャル・メディアの利用及び本ポリシーに伴う紛争については、東京地方裁判所が第一審の専属管轄権を有するものとします。

以上